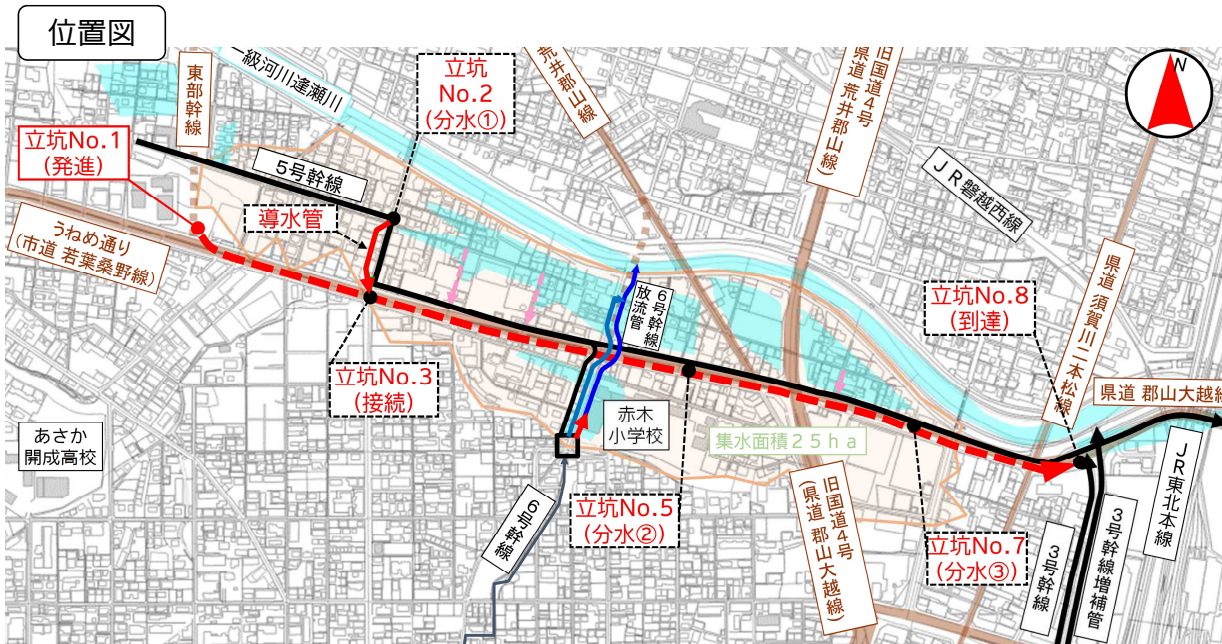


赤木貯留管築造工事 工事概要

「お問い合わせ先」
下水道整備課 TEL932-7672



赤木貯留管の役割

赤木町、若葉町及びその周辺地区において、**ゲリラ豪雨等の局所的な豪雨**により発生している浸水被害に対し、雨水を一時的に貯留し浸水被害の軽減を図ります。

平成22年7月6日実績降雨を基に貯留量を設定
10分あたり23mm (時間あたり58mm)

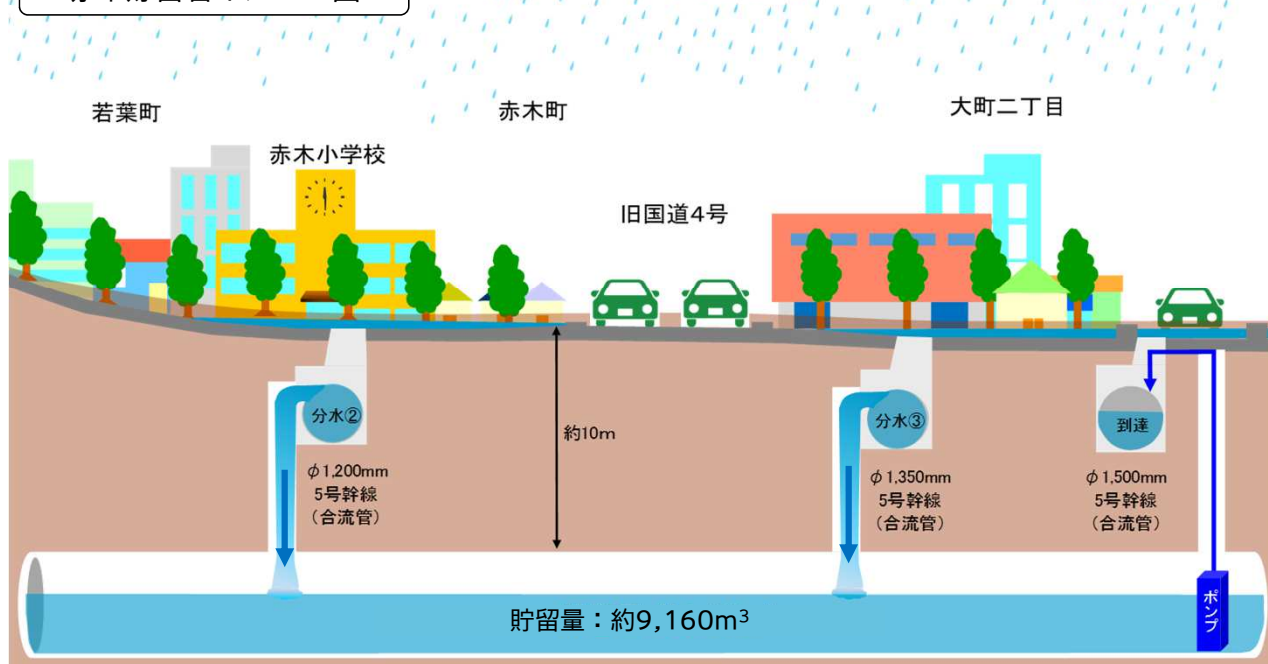
赤木貯留管築造工事

工期 平成30年11月14日～令和3年3月15日
契約額 ¥3,068,280,000円
受注者 大豊建設・むさし建設・田母神建設特定建設工事共同企業体

工事概要

雨水貯留管築造工 施工延長 L=1,303.00m
管路工
泥土圧式シールド工(貯留管) L=1,299.00m : 内径φ3,000mm
泥濃式推進工 (導水管) L= 93.90m : 内径φ 900mm
特殊マンホール工 N=6基

赤木貯留管イメージ図



【貯留の仕組み】

・降雨による5号幹線の水位上昇に伴い、①から③の分水堰から貯留管に排水されます。

・5号幹線の水位が下がった後、貯留管に溜まった雨水をポンプで汲み上げ次のゲリラ豪雨等に備えます。

【シールド掘進機】



立坑No.1から立坑No.8に向かって掘り進め貯留管を築造します。
(外径3.53m 機長6.55m 重量87t)

【シールド機掘進予定】

発進 令和2年 5月中旬
到達 令和2年12月下旬

